広徳寺通信

80号

Letter from Koutokuji Temple

あなたとお寺をむすぶ架け橋、お寺の元気をお届けします

発行元　曹洞宗慈眼山広徳寺
令和元年十一月一日発行

三世小野塚住職代に再建された広徳寺本堂。
明治39年、今から百年以上も前のことです。

私はこのお墓の中にはいません。
このお墓の外にもいません。
私はあなたの安らかな呼吸とともにあります。

（ベトナム僧　ティク・ナット・ハン師の言葉）

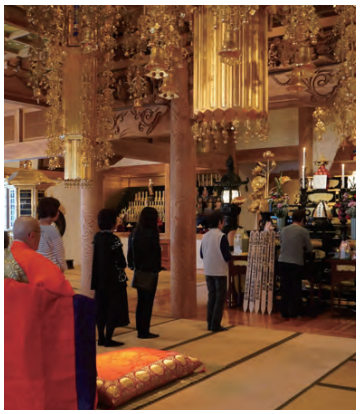
*

私のお墓にはこのように記してほしいと弟子に言ったベトナムのお坊さん、ティク・ナット・ハンさんの言葉です。私は窮屈なお墓の中にとどまるよりは、この大自然すべてに行き渡っているから「お墓の中にはいないよ」と言いたい。でもそれだけでは勘違いする人もいるだろうから二行目を、と「お墓の外にもいないよ」と言う。ではどこにいるのか。それは、残された私たちが吸う息吐く息、その呼吸の裏側で「一緒に呼吸をしているよ」。そのように言います。亡き人の命は今も、私たちの生き方とともにあります。

▶ 今年で 10 年目を迎えた小学生の一泊お泊り坐禅会。元気な声が本堂に響きました。

▶「寺こや自然塾」では LP ガス協会の方々が火起こし体験を小学生にしてくれました。

▶秋の紅葉に色づく境内。今年は綺麗にすっかり葉を落としてから雪が降りました。



▶ 今年の秋彼岸会でのペット供養合同慰霊祭は台風の中で本堂で。それでも納骨の時には雨は止んでくれました。

▶ 毎年恒例お盆の法要、といっても、毎年毎年支える方々は異なります。それでも同じように続けられているという尊さです。

▶ 盂蘭盆会終わって水塔婆を乗せた舟を海に流しご先祖さまをお見送りしました。今年も舟を戸館政晴さんが作ってくれました。

お寺のできごと

七月二十六日二十七日（金土）

お寺で小学生が一泊修行！

今年で十回目を迎えた寺こや自然塾。今年もたくさんの方に支えられ、子どもたちの笑顔が絶えない二日間となりました。ありがとうございます。お寺で過ごした経験はきっと生きていく上でとっても大切なこと。そういう気持ちで続けてまいります。

八月十八日（日）

お盆のお寺参りを勤めました

今年のお盆は北海道らしからぬ暑さでしたね。それでも無事に終えることができました。今年の墓地清掃にはお檀家の木村正直さんご夫妻や千代田の島津大樹さんがお手伝いに来てくださいました。本当にありがとうございます。お寺参りの説教では大野の光明寺の方丈様に「山門について」教えていただきました。

九月二十三日（月・祝）

秋彼岸会法要・ペット供養合同慰霊祭

台風の中、境内でのペット供養のお勤めが叶わず、本堂で行われました。それでもお勤め終わっていっとき現れた雨の切れ目に、今年は三組の方がペットの遺骨を一緒に納めました。彼岸法要では、皆で正法御和讃をお唱えしました。これからのお寺参りもご一緒にお唱えできればと思っています。

十月十五日（火）

三百周年記念事業説明会開催

これから八年計画で広徳寺は三百年の節目を迎えます。去年から委員会で話し合われた事業内容、並びに寄付の説明を本堂でさせていただきました。厳しいご意見もふくめ、お一人お一人のお檀家の方々がお寺をあり方を真剣に考える日でした。心を一つに進んで参りたいと思っています。

お寺の庭から　「お寺のことだから…」

三百周年記念事業寄付について思うこと

お参りに伺うときに三百周年の記念事業のお話をさせていただいております。

三百周年について、山門建立について、寄付について、人によって受け取り方がさまざまであると感じています。

朝いちばん、お寺の玄関のインターホンを押して「寄付お持ちしました」という方もいらっしゃれば、「お寺にお金をとられる」とおっしゃる方もいます。

どちらが良くてどちらが悪いということではないです。

経済状況やお寺への親しみ、親戚関係、家々によって事情はさまざまですから、寄付の金額も納め方も一様ではありません。お寺としては生活の範囲内でできるかぎり協力していただきたいところですが、無理強いもできません。

一人住まいの七十歳くらいの女性のお宅をおうかがいしたときのことです。

私が「この度、お寺ができて三百年経ち…」と話しはじめると、

「和尚さんね、私ゆるくないわ。寄付するの」

私の目をまっすぐ見て、でもその目はちっとも感情的なものはなく、女性はつづけました。

「主人も亡くなって遺族年金で、月々6～7万円というところでやっていて、住んでいる土地も借りているところだから、日々の生活でいっぱいいっぱい」

そういう自らの生活状況を、一時間ほどたんたんとお話ししていただきました。

お話を聞けば聞くほど、寄付の余裕などどこにもなく、また、後継者の問題など今彼女が抱える不安も考えると、私も

「いいですよ、寄付は無理なさらなくて」

と言いかけましたがその女性は、

「でもね和尚さん、私、お寺の事だから少しずつでも寄付させていただきます」

と最後に言いました。

私は、胸がグッとするのを感じました。

「こういう女性もいるのだから、皆さんも頑張ってください」

と言いたいのではありません。

むしろ、お金の多少ばかりでなく、その人のお寺に対する、仏に対する向き合い方、態度、そういう善意のかたまりでお寺という場所は三百年間も成り立っているのだということです。

お寺ほど善意のかたまりであるところは他にありません。個人の私利私欲や見返り、あるいは他へ憎しみというところを、お寺は超えてしまっている。

だからこそここは、こんなにも清浄で心安らかになれる場所なんだということ、この女性は教えてくれました。

同時に、私が担うべき責任というものも感じずにはおられませんでした。

お檀家お一人お一人で感じるところ、思うところが異なるところだと思います。是非お聞かせいただきたいところです。

（広徳寺副住職　髙橋正英）

特別寄付についてのお問い合わせもいただいております。来年春から特別寄付のお話を進めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

三百周年記念事業と並行して、お寺ではいわゆる「子ども食堂」、また、宮崎新聞販売所とともに「小学生のための放課後スペース」づくりを計画中です。お手伝いいただける方募集中です！

梅花流詠讃歌　土曜日午後1時半

一緒に御詠歌（ごえいか）お唱えしてみませんか？

御詠歌は心の安らぎです。上手い下手ではありません。初めての方でも大丈夫ですよ。

朝のお勤め　毎朝6時40分 本堂

朝の澄んだ本堂でお参りしませんか？

20分程度で終わります。お布施等はご準備いただかなくても結構です。お気軽にお越しください。

寺子屋　毎月1～2回 不定期開催

お寺の境内で一緒に遊びましょう！

子どもが子どもらしくあってほしい。小学生対象。詳しくは副住職まで。

お寺でボディメイク　土曜日夜6時半

お寺でかんたん体操してみませんか？

体操というよりは筋肉をほぐす動きがメインです。無理なくからだを動かします。

参加費 1,000円（割引有）　持ち物 ヨガマット・飲み物
講師 水戸麻衣子先生　※予約制ですのでお電話下さい。
※日程に関してはお電話またはホームページをご覧ください。

みんなの寺子屋　しゅくだいカフェ　来春

地域の子どもを見守ってくれるスタッフ募集中です！

宮崎新聞販売所主催の小学生の放課後の居場所づくりを一緒にしませんか？

子ども食堂　来年より開催予定！

現在お手伝いスタッフ募集中です！

お寺に地域の方が集う場所として食堂を計画中。興味ある方ご連絡ください！